

薬物乱用を誘われたら、どうしますか？

もしもの時のために断わり方を考えておくことが大切です。



あなたなら、どう断る？

A君はアルバイトを終え、バイト仲間のB君と一緒に帰宅していた。

A君 「もうすぐテストだね。でも、バイトが終わってから勉強しても、疲れちゃってすぐ眠くなるんだよなあ。ああ、全然勉強できてない……。テスト、どうしよう……。」

B君 「そうだよなあ……。」

「実はこの前、2年前に卒業した先輩から、疲れがとれて気分もスカッとするいい栄養剤を手に入れたんだけど、Aも使ってみないか？すごく効くんだけ。」

A君 「_____」

実際の場面を想定して，断り方を考えよう！

1. きっぱりタイプ

⇒ 誘いに対して，きぜんとした態度と言葉で断る

2. 話題転換・仮病タイプ

⇒ 誘いとは異なる話題に誘導したり，「急におなか
が痛くなった」などの仮病を使ったりして，その場
をやりすごす。

3. 説得タイプ

⇒ 友人のことを心配して，理由を述べて，そのよう
な薬物をやめるよう，説得する。

断り方は、いろいろあります

「親が悲しむことはしたくないから、やりません」

「法律で禁止されているからやりません」

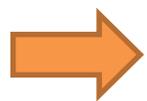
「そういえば、昨日のドラマ見ました？」

「これから家族で出かけるので、お先に失礼します」

「ちょっと今、おなかが痛いので、やめておきます」

「その薬、あやしいです。先輩もやめておきましょうよ」

その場を急いで立ち去る



自分に合った断り方でOK！

いくつか準備しておきましょう！